

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



口蹄疫、豚熱及びアフリカ豚熱の病性鑑定における写真撮影及び画像送信の演習を実施しました！

令和3年（2021年）8月4日熊本県農業研究センターにおいて、「**口蹄疫、豚熱及びアフリカ豚熱の病性鑑定における写真撮影及び画像送信の演習**」が開催されました。当所では豚熱やアフリカ豚熱を疑う緊急病性鑑定を想定し、診断の補助となる箇所である耳介や結膜等の撮影、事務所への送信に関する演習を実施しました。演習に生きた豚（畜産研究所の出荷豚）を使用したことで、より実践的な演習となりました。



演習の様子

豚熱は、国内で**71事例**発生しており（令和3年9月1日現在）、令和3年7月には兵庫県淡路島で、野生いのししの陽性事例が確認されたことから、**四国全県がワクチン接種推奨地域に追加**されました。

また、アフリカ豚熱も隣国の韓国で、本年8月に飼養豚において3件の発生が確認されています。

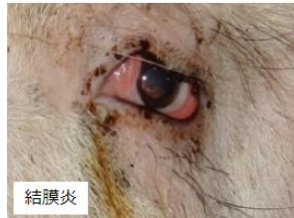
このような現状から、豚熱やアフリカ豚熱については侵入の危険性がさらに増しているものと考えられます。両疾病が疑われる症状を呈する豚を確認した際は、**当所まで早期に通報をお願いします。**



耳翼の紫斑



元気がない



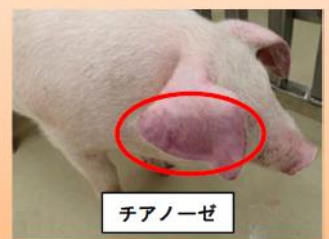
結膜炎

※農水省HPより

←豚熱を疑う症状の例



死亡



チアノーゼ

アフリカ豚熱を疑う症状の例→

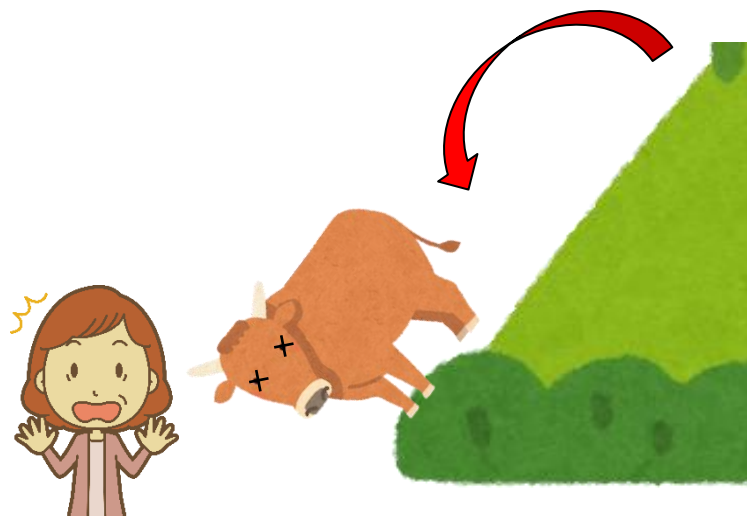
放牧事故を防ぎましょう！！

阿蘇地域では放牧が盛んに行われ、肉用繁殖牛の低コスト生産だけではなく、雄大な草原景観の維持に欠かせません。

一方で、放牧に慣れない牛や、草が少なくなる時期に、草を求めて危険な場所まで入り込み、滑落して死亡するなどの事故が昨年度は**7件**発生しています。中には、分娩事故により親子で死亡が発見される事例もあります。以下の点に注意して、事故を未然に防ぎましょう。

96か月齢以上の牛が死亡した場合は、BSE検査が必要です。万が一、放牧事故が発生した際には、阿蘇地域振興局農業・普及振興課畜産支援班（**0967-22-5212**）への早期通報をお願いします。

- ・放牧馴致を行いましょ
- ・定期的な危険箇所の確認と牧柵などの対策を行いましょ
- ・分娩2か月前には下牧させましょ
- ・しっかりと牛の観察を行いましょ



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	ロシア	野鳥	令和3年7月14日
	H5N5	台湾	家禽	令和3年8月16日
	H5N6	ベトナム	家禽	令和3年8月6日
	H5N8	ベトナム	家禽	令和3年8月9日
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国	豚	令和3年8月8、16、26日
		韓国	野生イノシシ	令和3年8月27日
		ロシア	豚	令和3年8月26日

令和3年(2021年)8月31日現在

毎月20日はくまもと家畜防疫の日



韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。

下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<https://plus.sugumail.com/usr/kumamoto-pref/home>

